

平成29年12月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社シンシア

上場取引所

東

URL http://www.sincere-vision.com

代表者 (役職名)代表取締役執行役員社長 問合せ先責任者(役職名)取締役執行役員管理部長 (氏名) 中村 研 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5695)7470

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四 半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	2,101		179		247		171	
28年12月期第2四半期								

(注)包括利益 29年12月期第2四半期 177百万円 (%) 28年12月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
29年12月期第2四半期 28年12月期第2四半期	25.65	24.78

- (注)1.当社は、平成28年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年12月期第2四半期の数値及び平成29年12月期第2四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。
 - 2.当社は、平成29年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われた と仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	3,117	2,243	72.0
28年12月期	2,848	2,026	71.1

(参考)自己資本 29年12月期第2四半期 2,242百万円 28年12月期 2,025百万円

2. 配当の状況

Z. AU — V7 //////							
		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭		
28年12月期		0.00		30.00	30.00		
29年12月期		0.00					
29年12月期(予想)				10.00	10.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、平成28年12月期の期末配当金については、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株主に 当期純	こ帰属する	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,291	7.5	280	51.5	270	1.4	186	10.2	27.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済み株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)29年12月期2Q6,735,600 株28年12月期6,536,100 株期末自己株式数29年12月期2Q株28年12月期株期中平均株式数(四半期累計)29年12月期2Q6,701,249 株28年12月期2Q株

(注)1.当社は、平成29年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。

2.当社は、平成28年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、 その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当国	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	2
	(3)	キャッシュ・フローの状況	3
	(4)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1)	四半期連結貸借対照表	4
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
		四半期連結損益計算書	
		第2四半期連結累計期間	6
		四半期連結包括利益計算書	
		第2四半期連結累計期間	7
	(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	ç
		(継続企業の前提に関する注記)	ç
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	ç
		(追加情報)	ç

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益が引き続き改善傾向にあるのに加え、個人消費も緩やかながら持ち直しており、全体として景気回復基調が継続しました。

このような状況の中での当社グループの状況は、カラーコンタクトレンズ市場の積極開拓、インターネット通販店やドラッグストアを介した新たな流通チャネル開拓への注力等の施策により、自社ブランド商品売上は順調に推移しております。

一方で、収益性改善の取り組みとしてプロダクトミックスの見直しを実施しており、他社ブランド商品のOEM受注売上は前年同四半期と比較して減少しております。

以上のことから、損益面では、前連結会計年度においては自社ブランド商品売上と0EM受注売上の割合が51:49でありましたが、当第2四半期連結累計期間においては56:44と大きく自社ブランド商品売上比率が高まったことから、収益性が改善しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,101,044千円、営業利益179,647千円、経常利益247,995千円、親会社株主に帰属する四半期純利益171,870千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,915,721千円となり、前連結会計年度末に比べ234,971千円増加いたしました。これは主に売掛金が134,169千円減少したものの、商品が120,595千円、外国為替差入証拠金が236,113千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は201,563千円となり、前連結会計年度末に比べ33,791千円増加いたしました。これは主にデリバティブ債権が36,973千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,117,285千円となり、前連結会計年度末に比べ268,762千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は822,045千円となり、前連結会計年度末に比べ46,003千円増加いたしました。これは主にデリバティブ債務が41,294千円減少したものの、短期借入金が100,000千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は51,612千円となり、前連結会計年度末に比べ5,345千円増加いたしました。これは主に長期借入金が10,002千円減少したものの、デリバティブ債務が14,660千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は873,658千円となり、前連結会計年度末に比べ51,349千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,243,626千円となり、前連結会計年度末に比べ217,412千円増加いたしました。これは主に第三者割当増資による払込みを受けたこと及び新株予約権の行使により、資本金、資本準備金がそれぞれ52,425千円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が171,870千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.95%(前連結会計年度末は71.11%)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8,935千円減少し、1,128,090千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益247,995千円、売上債権の減少額134,322千円等の増加要因に対し、たな卸資産の増加額145,818千円、デリバティブ評価益47,456千円、その他の負債の減少額72,569千円等の減少要因により、131,972千円の増加(前連結会計年度は615,339千円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、外国為替差入証拠金の純増額251,139千円等の減少要因により、241,409千円の減少(前連結会計年度は86,484千円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、短期借入金の純増額100,000千円、株式の発行による収入104,850千円の増加要因に対し、配当金の支払額65,539千円等の減少要因により、107,641千円の増加(前連結会計年度は239,689千円の減少)となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年2月14日の「平成28年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 137, 026	1, 128, 090
売掛金	602, 927	468, 758
商品	577, 518	698, 114
貯蔵品	61, 512	87, 623
前渡金	47, 231	-
繰延税金資産	4, 448	16, 708
デリバティブ債権	_	5, 980
外国為替差入証拠金	214, 011	450, 124
その他	48, 083	73, 230
貸倒引当金	△12,009	△12, 908
流動資産合計	2, 680, 750	2, 915, 721
固定資産		
有形固定資産	28, 063	25, 218
無形固定資産	14, 335	17, 219
投資その他の資産		
投資有価証券	1, 658	1, 643
繰延税金資産	3, 039	-
デリバティブ債権	_	36, 973
その他	122, 046	121, 878
貸倒引当金	△1,371	$\triangle 1,371$
投資その他の資産合計	125, 372	159, 124
固定資産合計	167, 771	201, 563
資産合計	2, 848, 522	3, 117, 285

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164, 183	157, 301
短期借入金	200, 000	300, 000
1年内返済予定の長期借入金	40,004	18, 337
未払法人税等	21,730	92, 167
デリバティブ債務	132, 697	91, 402
賞与引当金	-	17, 100
繰延税金負債	14	_
その他	217, 412	145, 737
流動負債合計	776, 041	822, 045
固定負債		
長期借入金	16,650	6, 648
デリバティブ債務	29, 617	44, 277
繰延税金負債	<u> </u>	686
固定負債合計	46, 267	51, 612
負債合計	822, 308	873, 658
純資産の部		
株主資本		
資本金	208, 899	261, 324
資本剰余金	310, 151	362, 576
利益剰余金	1, 496, 389	1, 602, 898
株主資本合計	2, 015, 439	2, 226, 798
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	8, 386	13, 355
為替換算調整勘定	1, 833	2, 772
その他の包括利益累計額合計	10, 220	16, 127
新株予約権	553	700
純資産合計	2, 026, 213	2, 243, 626
負債純資産合計	2, 848, 522	3, 117, 285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	2, 101, 044
売上原価	1, 475, 976
売上総利益	625, 067
販売費及び一般管理費	445, 420
営業利益	179, 647
営業外収益	
受取利息	851
デリバティブ評価益	47, 456
為替差益	22, 875
その他	2, 264
営業外収益合計	73, 448
営業外費用	
支払利息	1,822
貸倒引当金繰入額	2, 825
その他	452
営業外費用合計	5, 100
経常利益	247, 995
税金等調整前四半期純利益	247, 995
法人税、住民税及び事業税	86, 890
法人税等調整額	△10,765
法人税等合計	76, 124
四半期純利益	171, 870
親会社株主に帰属する四半期純利益	171, 870

(四半期連結包括利益計算書) (第2四半期連結累計期間)

親会社株主に係る四半期包括利益

非支配株主に係る四半期包括利益

(単位:千円)

177, 777

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	171, 870
その他の包括利益	
繰延ヘッジ損益	4, 968
為替換算調整勘定	938
その他の包括利益合計	5, 907
四半期包括利益	177, 777
(内訳)	

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

	T 1 1/220 1 0 /1 00 H /
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	247, 995
減価償却費	5, 089
のれん償却額	615
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	899
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17, 100
受取利息及び受取配当金	△851
支払利息	1,822
為替差損益(△は益)	△15, 045
デリバティブ評価損益 (△は益)	△47, 456
売上債権の増減額(△は増加)	134, 322
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△145 , 818
前渡金の増減額(△は増加)	47, 231
仕入債務の増減額(△は減少)	△6, 658
前受金の増減額(△は減少)	15, 161
その他の資産の増減額 (△は増加)	△25, 887
その他の負債の増減額(△は減少)	△72, 569
その他	278
小計	156, 228
利息及び配当金の受取額	747
利息の支払額	△1,854
法人税等の支払額	△23, 148
営業活動によるキャッシュ・フロー	131, 972
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7, 026
無形固定資産の取得による支出	△6, 656
デリバティブ取引による支出	△5, 853
デリバティブ取引による収入	29, 265
外国為替差入証拠金の純増減額(△は増加)	△251, 139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241, 409
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100, 000
長期借入金の返済による支出	$\triangle 31,669$
株式の発行による収入	104, 850
配当金の支払額	△65, 539
財務活動によるキャッシュ・フロー	107, 641
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7, 139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8, 935
現金及び現金同等物の期首残高	1, 137, 026
現金及び現金同等物の四半期末残高	1, 128, 090
	1, 120, 030

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年1月20日付で、株式会社SBI証券から第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ48,300千円増加しております。

この結果、新株予約権行使による増加分を含め、当第2四半期連結会計期間末において、資本金は261,324千円、資本剰余金は362,576千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1 四半期連結会計期間から適用しております。